

JISA広報部会

高校生向け 「NRIシステムエンジニア体験プログラム」のご紹介

2012年 2月9日

野村総合研究所
コーポレートコミュニケーション部



最初に・・・

高校生向けシステムエンジニア体験プログラムを 作成することになった経緯・・・

- 高校生に情報システムについて説明するのは難しい・・・

目に見えないものを説明しづらい

- システムエンジニアがどういった仕事をしているのかを
理解してもらえない・・・

セキュリティの面から執務室に入ってもらうことができない・・・

パソコンに向かっている図しか見せられない・・・

高校生向けシステムエンジニア体験プログラム

■目的、ねらい

グループワークを通じて、高校生に下記の3つを伝える

- ①情報システムってなに？ 情報サービス産業ってなに？
- ②情報システムってどうやって作っているの？
- ③システムエンジニアって何をしているの？

高校生向けシステムエンジニア体験プログラム

■プログラムの概要

- 対象：高校1～3年生(中学3年生)
- 時間：2時間 3時間の2バージョン
- 人数：10名～50名

3～5名のチームでのチーム対抗

- 高校生はSEとなって、あるコンビニチェーンからの依頼に挑戦
- 情報システムを導入し、業界中位のコンビニチェーンの利益を上げ、業界上位入りさせる
- コンビニ経営者や利用者などから得たヒアリング結果や店舗の立地条件などを見て、どんな情報システムを作成するか決める



SE体験プログラムに取り組む高校生

SE体験プログラムに取り組むNRI社員

プログラムの流れ

講師となるSEが
自らの経験を
交えながら話す

- 本日の進め方
- 会社紹介
- 講師の自己紹介

- SE体験プログラム
カードゲーム！

■振り返り

●本日のゲームで必要とされた3つの力 (SEに求められる力)

- ・問題を見抜く力
「問題は何か」を把握し、これを「解決する」力
- ・優先順位をつける力
何を採用し、何を捨てるか優先順位をつける力
- ・データを分析する力
多くの情報から、必要な情報は何かを判断する力



この3つは、社会に出てからも役立つ力です。

●情報システムは社会を支えるインフラです。 SEはそれをつくることを仕事にしています。

- ・社会を支える情報システムには、銀行ATM、メーカーの製造工程管理、証券の売買システム、インターネットショッピング、学習塾の成績管理など、さまざまなものがあります。身近な情報システムを探してみよう！



SE体験プログラム(一式)

システムエンジニア体験プログラムを ダイジェストでご体験ください。

